

2023年度

第2回  
学校関係者評価委員会報告書

於：令和6年2月  
学校法人長野県理容美容学園  
松本理容美容専門学校

## 第2回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和6年2月22日（木）13：30～15：30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：今井物産株式会社 代表取締役 五味先生

株式会社アーク 代表 竹松先生

小原校長・桐山事務局長・吉川事務主事・小口教務主任

○小原校長より

コロナ禍が落ち着き、通常の学校生活に戻りつつあるが、引き続き、気を緩めず職業実践認定校として、頑張っていきたい。

委員の皆さんから、客観的な意見をいただき、前進することが出来ている。

今後もより一層ステップアップしていきたいので、忌憚ないご意見を出して頂きたい。

### 【議題】

#### 1. 令和5年度第2回自己評価委員会報告

令和5年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の4項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等遵守の2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告し、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

**(基準1) 総括** 「教育とは教える者と教えられる者との関わりの中で、人を変える営みである」技術教育機関である本学園は、人格・技術共に豊かな変貌を期待できる全人的な教育を目指しています。

教える者・教えられる者ともに今よりも一歩前進を心掛け、未来に繋がる確かな技術を、創造的に先取りできる人材育成を似なっ、教育理念とします。

・第16回エステティックコンテスト

基礎部門銅賞1名（1年生） 応用部門銅賞1名（1年生）の結果となった。

・第15回全国理容美容学生技術大会

理容ワインディング1名出場（2年生）ヘアデッサン4名（2年生3名、1年生1名）の作品出展となった。

・ラグゼビューティーヘア&フォトコンテスト入賞 美容科2年生1名

・ビューティコレクション2023を開催することで、在校生の満足度を高める結果と共に、広く学園の取り組みを周知することができた。また、教職員による協力体制の充実に繋がった。

#### 学校関係者評価委員コメント 五味委員より

・素晴らしい教育理念である。松本校の魅力をより一層深めて行ってほしい。

#### 学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

・生徒指導の難しさは理解している。あきらめずに、継続して行ってほしい。

#### 今後の改善方策

・教育理念の重要さを改めて見直し、めざす職業の多様化に合わせて修正をし、向上していきたい。

・学習指導のみでなく、生活習慣の大切さを引き続き伝えていく。

・ナガコレの様なイベントがあればまた、教えてほしい。

**(基準2) 総括 令和6年9月 職業実践専門課程認定校への長野県からの依頼により、ホームページ上で、最新の学校基本情報の情報公開を行った。**

- ・新型コロナウイルス感染症分類5類の変更に伴い、令和6年度の学校運営においては、概ね感染症の影響を受けずに計画通り進めることができています。
- ・通信課程理容修得者課程（1.5年制）令和6年度4月受け入れとして、長野県への申請が受理された。また、評議委員会、理事会を経て学則変更を長野県に提出して、教育センターへの手続きも完了した。現在、2名の希望者となっている。
- ・令和5年6月理容科新任教師1名、7月美容科新任教師1名が就任した。美容科1名教育センターにて研修を終了し、教師の資格を取得した。理容科1名、現在教育センターでの研修を行っている。
- ・令和7年度生徒募集におけるオンライン出願実施に向けて、県内高校への周知と共に要望を取り入れながら進めていく。推薦入試特待生、指定校生については現状の紙の願書を使用する。それ以外となる推薦入試、一般入試、2次入試受験者がオンライン出願の対象者となる。引き続き周知、理解を教職員にも促す。

**学校関係者評価委員コメント 竹松委員より**

- ・通信課程理容習得者課程素晴らしい取り組みである。今後も時代の流れに合わせ、志願者に繋がる様な新しい科を設置していくべきである。

**学校関係者評価委員コメント 五味委員より**

- ・長野校が教員不足ということ。出来る限り協力していきたい。

**今後の改善方策**

- ・今後も在校生満足度に重点をおき、魅力ある学校づくりに力を入れていく。
- ・理容習得者課程について、メンズスタイル・フェードカットの流行により学生募集に繋がれば良いと考えている。

**(基準3) 令和5年度長野県より職業実践専門課程における新たな補助金制度の告知があり、令和6年1月に指定された資料を基に申請を行った。**

- ・在校生の満足度を高めるため、現状の選択授業については、講師の人選、授業内容等順次見直しを図りながら進めている。
- ・令和5年度の取り組み全般の振り返りとして、職員の自己評価アンケートを実施した。職員組織としての強みと弱点を明確化して、結果を基にして令和6年度の目標設定とした。
- ・8月合同打ち合わせ会議後、国家試験筆記対策として外部講師を招き、嘱託講師も含めた教職員研修を行った。
- ・新任教員の育成機会を好機と捉え、教職員全員が協力して関わることで、教職員組織全般に至る指導力の向上と統一を同時進行させていく。
- ・令和5年度理美容科資格試験の結果
  - ①2年生サービス接遇検定3級 86名受験 56名合格 合格率65.1%
  - ②1年生JMAメイクアップ2級72名 全員合格 3級74名 71名合格95.9%
  - ③2年生社会福祉準福祉理美容士 91名 全員合格
  - ④2年生ジェルネイル検定 27名 23名合格 合格率85.2%
  - ⑥1年生INAネイル検定 66名受験 63名合格 合格率92.4%
  - ⑦1年生パーソナルカラー検定 74名受験 64名合格 合格率85.4%
  - ⑧JHCAヘアカラー協会検定 シングルスター 76名受験 76名合格 合格率100%
- ・第49回理美容師国家試験、筆記対策を重点的に進める。

#### 学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・相モデル実習をもっと活用していくことで、基礎力・接客力も身につくのでは。
- ・接遇の日を決めて、言葉遣いのシミュレーションを日常的に行っていくと、習慣化していけるのでは。シャンプー実習時等に行うとより実践的でよいのでは。工夫して行ってほしい。

#### 学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・サービス接遇検定は、接客業において必要な検定である。実践的にサロンワークに繋がるような授業を取り入れていくべきである。

#### 今後の改善方策

- ・サービス接遇検定において、合格率の低さを問題と考えている。学校推奨の検定のため、必要性を生徒どのように伝えていくか。授業内容・講師共に検討していきたい。

#### (基準4)

- ・令和5年度教職員研修として、嘱託講師にも参加を促し外部講師による「国家試験筆記対策研修」を7月に実施した。
- ・令和5年12月21日現在  
休学者5名  
(美容科1年生4名、BB科1年生1名、BB科2年生1名、)美容科1名通信編入  
退学者3名 (美容科1年生2名、美容科2年生1名)  
精神面も含めた体調不良が主因となっている。美容科は通信への編入も視野に入れて、今後の対応とする。
- ・卒業生の業界における実績を踏まえて、対象者には選択授業等の講師として授業に関わっていただくように薦めている。

#### 学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・休学・退学者について、心の教育の大切さを感じている。初期教育が重要になっていくのでは。
- ・サロンでは、スタッフに寄り添って話を聞き、食事に行ったりコミュニケーションをとるように心がけている。精神的サポートを大変だが、継続していくしかない。

#### 学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・保護者の在り方も変化し難しい時代である。大変だと思うが頑張してほしい。
- ・生徒との距離が近く、常に寄り添っていることは、マツビの良い特徴である。先生と生徒の関係性は素晴らしい。寄り添えている学校である。

#### 今後の改善方策

- ・カウンセリング・心理学の授業時にアドバイスを頂き、担任のみでなく、学校全体としてのサポート体制は出来ている。
- ・全国的に通信制増加傾向である。専門学校休退学率10～15%平均。  
→教える側が問われる難しい時代である。  
マツビ生はかまっていほしい。甘えたい子が多い。  
検定取得のみでなく、人間性・教育の質の向上に力を入れていきたい。

### (基準5)

- ・令和5年度「給付型奨学金」対象者 1年生 15名 2年生 23名—18.9%  
「学生支援機構奨学金」対象者 1年生 31名 2年生 34名—32.3%
- ・令和5年度 ビューティコレクション2023は両校教職員の協力体制の基、在校生の貴重な経験となり、広く学園の取り組みを周知することができ開催することができた。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

### 今後の改善方策

- ・就職活動内容が、変化してきているため、オンラインへの対応など、今後もより一層時代に沿った就活ができるよう、就職部と協力していく。
- ・今後も在校生満足度に重点をおき、委員の先生方のご意見を参考に、魅力ある学校づくりに力を入れていく。

### (基準6)

- ・令和5年度 5月2年生サロン実務実習・5月、6月就職ガイダンス
- ・7月ヘアフェスティバル・7月BB科校内来校実習
- ・9月ビューティコレクション・12月1年生修学旅行(大阪USJ)
- ・1月1年生サロン実務実習等 — 計画された行事は実施できている。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・実務実習について、サロンとしては受け入れ問題ないのでは。きちんと学校側の意図を理解して頂けるサロンなら大丈夫では。学校支援サロンとして、責任もって受け入れます。なるべく多くの経験をしてもらいたいため、アシスタント業務をしてもらっている。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・実務実習はサロン経験が出来る大切な機会である。
- ・2025年6月16・17に、アジアビューティエキスポが大阪にて開催される予定である。参加していただきたい。

### 今後の改善方策

- ・今後も引き続き、在校生満足度を一番に考え、工夫していきたい。

### (基準7) 総括: 継続し学生募集に力をいれていく。

- ・令和5年度の入学生の確保は、コロナ禍において高校生・保護者の県内進学への意識喚起につながり追い風となった。しかしコロナ渦が収まり、令和6年度入学生確保は厳しい状況となった。
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策として、マイナビ・リクナビ等の進学ネット内容を深めていく取り組みを始めている。また、本学園希望以外の美容系希望者に対して、DMチラシを発送した。(3月上旬)
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集に向け、構築完了し、ネット出願応募フォーム作成開始している。(3月中) インターネット振り込み準備完了。
- ・令和5年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。(6月7月実施予定)
- ・9月30日実施 beauty collection 2023に向け本格的準備を終え、先生方の協力により、無事開催する事が出来た。在校生にとっても貴重な経験となった様子。
- ・2024年度新パンフレット制作開始。3月末納品予定。

**学校関係者評価委員コメント 五味委員より**

- ・学生募集について、少子化であるため、大変な部分もあると思うが、前向きに努力して頂き安心している。素晴らしい学校である。入口から卒業まで。また、卒業後のサポート体制が整っている学校である。特色を活かして、引き続き頑張ってもらいたい。協力はしていく。

**学校関係者評価委員コメント 竹松委員より**

- ・美容師の魅力・やりがいをあきらめずに継続的に力を入れていくしかない。地元で学び、地元で働く。を強めていきたい。

**今後の改善方法**

- ・美容師としての職業の価値を向上していくため、学校と業界の連携を引き続き行っていきたい。
- ・学校の特色をきちんと伝えられるような広報活動をしていく。委員の先生方から頂いた意見を参考にし、前向きな方策を検討していく。

**(基準8)** 継続して、問題なく実施できている。

**学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。**

**(基準9)** 継続して、問題なく実施できている。

**学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。**

**(基準10)** 継続して、問題なく実施できている。

**学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。**

2. 重点目標について (別紙1参照)

(1) 令和5年度重点目標実施報告

**重点目標① アフターコロナを見据えた、新たな日常の構築**

(年間の反省)

- ・4月当初から学校全体に落ち着きが見られ、主体性を持った挨拶、発言ができる生徒が目立つ。精神面で問題を抱える生徒もいるが、個々の対応や家庭連絡を密にして概ね担任把握ができている。
- ・1学期に計画されていた授業計画、行事計画が滞りなく進めることができている。
- ・教職員の意見を取り入れながら、内規の変更案に取り組んでいる。

**重点目標② 生徒指導の充実**

(年間の反省)

- ・理容科、美容科に新任教師が就任して教職員の協力体制が整えられている。
- ・教職員研修、教科研修会を推進することで、個々の指導力の向上に繋げている。
- ・資格試験、国家試験の指導を教科の講師と共に協力しながら進めることができている。
- ・内規に沿って、生徒指導、保護者連絡、保護者面談を実施することで、個々の生徒の事情に合わせた指導に繋げている。

**重点目標③ 学生募集から就職指導の一貫指導**

(年間の反省)

- ・6月の高校進路懇談会では6校から進路担当の先生方に来校していただき、美容学校の説明と在校生との懇談機会により、美容学校への理解を深めていただく機会となった。
- ・アフターコロナとなった現状で、県外就職内定の状況も比率が高まる傾向と共に、県外美容学校(東京、愛知、新潟、山梨)による県内高校説明会への参加頻度も高まっている。県内2校となる地元美容学校進学のメリットをオープンキャンパス、説明会にて強調していく。

**学校関係者評価委員コメント**

- ・重点目標に対して、考え・方策が変化していることが大事である。

**今後の改善方策**

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

(2) 令和6年度実施目標 (別紙2参照)

① 教職員の協力体制による指導力の向上

- ・クラス担任による指導を主としながらも、学年全体で個々の生徒に向き合えるように指導内容を共有していく。
- ・学年全体で新任教員の育成に関わりながら、自らも指導方法の改善に努める。

② 教師と講師との連携強化

- ・嘱託講師との連携を強化して、授業への取り組みを向上させていく。
- ・嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。

③ 教師と生徒との距離感を意識する

- ・初めと終わりを意識して、本時の導入とまとめを明確にしていく。
- ・個々の生徒に対して見落としの無い、平等な指示と評価を心掛ける。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・理美容業界・ディーラー・学校が上手く、協力し合い稼働していきたい。時代に合わせた教育。みんなで考え、実行していくしかない。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・継続していくことが大切である。地元サロンの協力体制がある学校。大きな特色になるのでは。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・お客様に寄り添う事のできる人間力の高い人材育成に力を入れていく。

最終まとめ

- ・やるべきことを一つずつ丁寧に頑張っていってほしい。協力は惜しまない。

3. その他

小原校長より

令和9年度より通信制600時間となる件について説明。サテライト式も可能となる。通信制の導入方法等、長期的に慎重に検討していく。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

大変な部分もあると思うが、時代に合わせ慎重に検討を重ねてほしい。

4. 次回予定

令和6年度第1回学校関係者評価委員会 令和6年7月29日(月) 13:30～